

## 【この時期の管理ポイント】

- 畦畔・農道の草刈りを徹底し、カメムシ類の生息密度を低下させましょう！
- 適期の中干しと溝切りにより、根の健全な発育を促し、気象変動(猛暑や強風)に負けない丈夫な稲づくりを実践しましょう！
- 暑い夏の登熟を高めるため、ケイ酸資材の施用(追肥)を積極的に行いましょう！

## 1 6月10日現在の水稻生育状況

- (1) 5月の連休以降の強風・低温による植え痛みや活着不良により下位分けつの発生が劣り、茎数は平年並〜やや少なめとなっています。ただし、茎数確保の状況は、ほ場間格差が大きくなっています。
- (2) 葉数は、気温がやや高めに推移しており、平年に比べやや進んでいます。
- (3) 草丈はやや長め、葉色はやや濃くなっています。

表1 水稻生育状況(6月11日現在)

品種名	地域名	田植日	草丈(cm)			茎数(本/m <sup>2</sup> )			葉数(L)			葉色(SPAD)		
			本年値	前年比	平年比	本年値	前年比	平年比	本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差
コシヒカリB	指標値	5/10	26	-	-	210	-	-	6.7	-	-	35	-	-
	水原 下条	5/11	31	104%	108%	194	94%	90%	7.4	+0.4	+0.2	39.6	+4.8	+3.8
	京ヶ瀬 駒林	5/5	33	93%	106%	243	133%	103%	7.3	-0.4	+0.3	39.7	+5.6	+1.7
	安田 籠田	5/9	30	101%	107%	193	80%	94%	7.6	+0.4	+0.6	35.7	-0.3	+0.1
	笹神 宮島	5/1	30	97%	107%	267	112%	117%	8.4	+1.4	+0.8	40.0	+4.9	+1.7
笹神 沖	5/6	30	103%	107%	374	129%	160%	8.5	+0.9	+0.9	43.0	+3.9	+4.9	
こしいぶき	指標値	5/10	24	-	-	220	-	-	6.6	-	-	38.0	-	-
	水原 中湯	5/11	28	90%	-	380	162%	-	8.2	+0.7	-	46.8	+4.3	-
	京ヶ瀬 田山	5/4	35	117%	-	245	100%	-	7.4	±0	-	41.4	+5.3	-
安田 籠田	5/9	26	94%	103%	185	97%	100%	7.4	+0.2	+0.2	38.2	-1.2	-0.2	
つきあかり	水原 大野地	4/28	44	-	-	279	-	-	8.6	-	-	47.5	-	-
	笹神 横山	5/4	36	-	-	216	-	-	8.0	-	-	42.7	-	-
あきだわら	水原 大野地	5/18	29	-	-	186	-	-	4.6	-	-	41.8	-	-
五百万石	水原 福田	5/4	25	102%	96%	231	122%	119%	7.6	0.3	0.2	46.9	+7.7	+4.6

## 2 中干し後～穂肥までの管理(溝切り・飽水管理・ケイ酸資材の施用)

北陸地方の3ヶ月予報によると、今年の夏は全国的に暖かい空気に覆われ、気温が高く暑い夏が予想されています。高温に負けない稲づくりに向けて、中干し・溝切りやケイ酸資材を積極的に施用しましょう。

- (1) 溝切りは必須対策
  - ・高温時の迅速な水の供給、湯水時の効率的な用水利用を図るため、溝切りは必ず行いましょう。
  - ・中干し後は、飽水管理(浅水で湛水→足あとに水が残っているくらいまで減水→再び浅水湛水)を行いましょ。
- (2) ケイ酸資材の積極追肥で高温対策
  - ・稲は、出穂40日前頃から出穂期にかけて、ケイ酸を最も多く吸収します。このため、出穂40～35日前のケイ酸追肥は丈夫な稲づくりに効果的です。
- (3) 業務用米の管理ポイント
  - ・つきあかり、ちほみのりなど極早生の業務用米(多収性品種)は、穂肥が遅れないよう注意しましょう。一発タイプの施肥でも葉色がSPAD値40を下回るようなら追肥を行いましょ。

表2 主なケイ酸資材の施用例

資材名	施用時期	施用量(kg/10a)
けい酸加里プレミアム34	出穂35～40日前	20～40
マルチサポート1号	出穂40日前	20～40
ミネラル三昧	出穂20～40日前	15～30

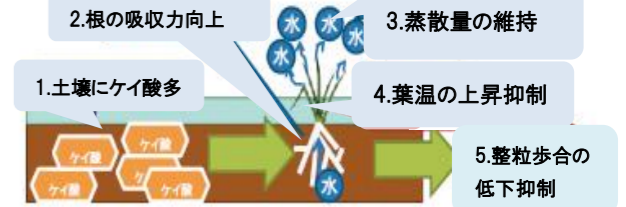


図1 登熟期高温だった場合のケイ酸の多少が稲に与える影響

## 3 穂肥施用のポイント

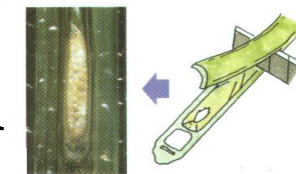
- (1) 6月11日現在の水稻の生育は、平年並〜やや進んでいます。出穂期は今後の天候により変動しますので、あくまでも**現段階での「めやす」**としてください。
- (2) 穂肥の施用に当たっては、最新情報を確認するとともに、必ず生育診断を行いましょ。
- (3) 特に極早生品種は、施用時期が早いので、1回目の穂肥が適期に施用できるよう準備しておきましょ。
- (4) 穂肥に使用する肥料の種類や施肥体系による使用時期や施用量に注意しましょ。(下表参照)

表3 穂肥の施用量・時期のめやす

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥窒素量(kg/10a)	穂肥時期			
				1回目		2回目	
つきあかり	7/2	7/25	4～6	6/30 (-25)	7/2 (-23)	7/11 (-14)	
こしいぶき	7/6	7/29	2～3	7/6 (-23)	7/9 (-20)	7/15 (-14)	
コシヒカリ(連休植え)	7/14	8/6	1～3	7/19 (-18)	7/22 (-15)	7/27 (-10)	
コシヒカリ(5/10植え)	7/17	8/9	1～3	7/22 (-18)	7/25 (-15)	7/30 (-10)	
新之助	7/21	8/13	1～2	7/23 (-21)	7/26 (-18)	8/1 (-12)	8/3 (-10)
あきだわら	7/23	8/15	4～6	7/21 (-25)	7/23 (-23)	8/1 (-14)	8/3 (-12)
わたぼうし	7/3	7/25	3～4	7/2 (-23)	7/5 (-20)	7/13 (-12)	7/15 (-10)
こがねもち	7/10	8/2	1～3	7/15 (-18)	7/18 (-15)	7/23 (-10)	

※幼穂形成期：幼穂長1mm以上の穂が全体の80%以上となった時(出穂23～22日前)

◆幼穂の確認方法  
カッターなどで割る



表はあくまで平年並の出穂期を想定した施用時期めやすです。今後の天候により、時期が前後する可能性がありますので、JA、普及指導センターの最新情報を確認ください。

表4 肥料の種類及び施肥体系別 穂肥施用のめやす(コシヒカリ)

施肥体系	肥料の種類	出穂前日数				
		30日前	25日前	18～15日前	10日前	3日前
分施	化学肥料	-	-	1回目	2回目	3回目 ★葉色3.2(葉色板3.9)以下の 場合のみ1.0kg
	有機質肥料	有機由来N:50%	-	1回目	2回目	3回目 ★葉色3.2(葉色板 3.9)以下の 場合のみ1.0kg
		有機由来N:100%	1回目	-	2回目	-
基肥 一発	有機質肥料	追肥(有機由来N100%の肥料を使用)				
	有機由来N:100%	-	-	★葉色3.4(葉色板4.2)以下の 場合のみ1.0kg		-